

令和5年度 第2回朝霞市博物館協議会次第

日 時 令和6年2月20日（火）
午前10時～
場 所 朝霞市博物館 講座室

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 題
 - (1) 令和5年度事業報告
 - (2) 令和6年度事業計画
 - (3) その他
- 4 閉 会

朝霞市博物館協議会委員名簿

任期：令和5年2月20日～令和7年2月19日

No.	委員名	カタカナ	職名または所属
1	猪俣 みちよ	イノタ ミチヨ	公募委員
2	榎本 洋二	エノモト ヨウジ	陶芸家
3	金子 幸男	カネコ ユキオ	朝霞市公民館運営審議会委員長
4	杉山 正司	スギヤマ マサシ	元埼玉県立歴史と民俗の博物館主任専門員兼学芸員
5	鈴木 香織	スズキ カオリ	朝霞第五中学校長
6	陶山 憲裕	スヤマ ケンユウ	朝霞市文化財保護審議会委員会議長
7	利根川 仁志	トネガワ ヒトシ	朝霞市議会議員
8	原口 憲充	ハラグチ ハリミツ	朝霞第四小学校長
9	茂木 静枝	モキ シズエ	朝霞市公民館運営審議会委員
10	吉岡 知子	ヨシオカ トモコ	埼玉県立近代美術館学芸員

50音順

令和5年度 第2回博物館協議会
資 料

日 時 令和6年2月20日(火) 午前10時

会 場 朝霞市博物館 講座室

令和 5 年度事業報告

令和5年度（2023年度）博物館事業報告

令和5年（2023年）4月1日～令和6年（2024年）1月31日

令和6年1月31日現在

1 令和5年度利用統計

年度	開館日数	入館・利用者数 (団体含む)	学校団体		一般団体	
			団体数	人数	団体数	人数
令和5年度 (～令和6年1月31日)	240日	19,452人	25団体	823人	87団体	876人
令和4年度	285日	24,774人	23団体	1,267人	25団体	222人
平成8 ～令和3年度	7,049日	1,182,576人	915団体	68,643人	2,941団体	38,572人
合計	7,574日	1,226,802人	963団体	70,733人	3,053団体	39,670人

2 令和5年度事業報告

※展示の参加人数は入館・利用者数から出張事業人数を除いたもの

事業・講座名	趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計
常設展示	考古分野 「遺跡が語る朝霞」 歴史分野 「陸の道と水の道」 民俗分野 「水となりわい」	—	【通年】	19,452人
	民俗分野 「むかしの暮らし」	—	【日程】 4月22日（土） ～8月20日（日） ※企画展・テーマ展示等 開催時は撤収・入替	7,689人
	美術・工芸分野 「朝霞の 美術・工芸」	—	【日程】 4月22日（土） ～7月2日（日） ※企画展・テーマ展示等 開催時は撤収・入替	3,832人
第37回企画展	第37回企画展 樹木と人の暮らし	—	【日程】 10月14日（土） ～11月26日（日）	2,993人
	企画展関連体験教室 ①「行燈をつくらう！」 ②「凧をつくらう！」	小学1～6年生（1・2年生は保護者同伴）	【日程】 ①10月28日（土） 午後1時30分～3時 ②11月19日（日） 午後1時30分～3時 【講師】 当館学芸員 岡田 貴哉	定員各回12人 ① 12人 ② 12人

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計
テーマ展示	朝霞市県展作品展	第71回埼玉県美術展覧会(県展)において出品された市内作家の入选作品等を集めて紹介する。	—	【日程】9月9日(土) ～24日(日)	1,418人
	出品者内覧会	出品者による内覧会	出品者	【日程】9月7日(木) 午前10時～11時	18人
ギャラリー展示	「朝霞の神社と古事記のおはなし」	市内神社の写真パネルと併せ、その祭神に関連する古事記の話を紹介する。	—	【日程】4月1日(土) ～6月4日(日) ※前年度継続事業 1月31日(火)～	3,824人 ※前年度～ 4,506人
	「あさか発掘調査速報展—足元に眠る地域の記憶—」	令和4年度に実施した市内の発掘調査成果について、出土した土器や発掘調査の写真パネル等を中心に紹介・展示する。	—	【日程】7月1日(土) ～9月3日(日)	5,171人
	「朝霞と地震—関東大震災から100年を迎えて—」	関東大震災から100年を迎えた今、館蔵資料により当時を振り返るとともに、朝霞市域の地震の歴史、現在の朝霞市の対策などについて紹介する。	—	【日程】令和6年2月3日(土) ～4月7日(日) ※次年度に継続	
収蔵資料展示	収蔵資料展示 「絵図・地図にみる朝霞」	近年の収蔵資料調査成果に基づき、近世から現代にかけての朝霞の絵図・地図を紹介する。	—	【日程】7月22日(土) ～8月20日(日)	2,813人
	小学校3年生博物館利用授業展示 「昔の道具」	昭和30～40年代頃のくらしの風景や道具について、常設の民俗展示を拡充して紹介する。	—	【日程】 ①4月1日(土) ～4月9日(日) ※前年度継続事業 1月17日(火)～ ②12月23日(土) ～令和6年4月7日(日) ※次年度に継続	① 622人 ※前年度～ 5,748人 ② 2,749人

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計
資料紹介展示	「独楽」	独楽の歴史や地域に根付いた独楽などの紹介とともに、収蔵資料から独楽を展示する。	—	【日程】 4月29日(土) ～7月2日(日)	3,489人
	博物館体験教室 関連展示 「ワタから糸へ」	綿織り機や糸車をはじめとする体験用資料などにより、ワタから糸になるまでを紹介する。	—	【日程】 ①2月4日(土) ～4月9日(日) ※前年度継続事業 2月4日(土)～ ②12月1日(火) ～令和6年4月7日(日) ※次年度に継続	① 622人 ※前年度～ 3,916人 ② 3,747人
	博物館実習生展示 ①「絵馬」 ②「比べてみよう！ 2つの時代 ～昭和10年と 昭和40年～」 ③「集まれ！あの頃の 少年少女 ～人気キャラクターの 移り変わり～」	【日程】 - 博物館実習生3班が、 それぞれテーマを設けて 収蔵資料を紹介した。 ※展示ケース3台による	—	【日程】 8月23日(水) ～9月5日(火)	271人
生体展示	「朝霞で見られる 水の生き物」	フナ・ドジョウ・ナマズなど朝霞で見られる水の生き物について生体展示を行う。	—	【通年】	19,452人
	「博物館で 生まれた カブトムシ」	夏休み期間にあわせ、博物館で羽化したカブトムシの生体展示を行う。	—	【日程】 7月22日(土) ～8月20日(日)	3,795人
講座	歴史講座 「古文書から見る 江戸時代の朝霞」 (連続3回)	朝霞市域に残された古文書から、地域で起きた事件等の出来事を読み解く ①朝霞の村の仕組み 「五人組帳」から江戸時代の村社会について解説 ②村の事件簿① ③村の事件簿②	どなたでも(市民優先)	【日程】 令和6年 ①2月24日(土) ②3月2日(土) ③3月9日(土) 【講師】 ①近世史研究家 宮原 一郎 氏 ②③立正大学専任講師 栗原 健一 氏	定員 40人
	古文書講座 ～はじめての 古文書～ (連続6回)	朝霞市内に残る古文書を読み解き、古文書の読み方とともに地域の歴史を学ぶ。	どなたでも(市民で初めての方優先) ※連続受講可能者	【日程】 ①12月10日(日) ②12月24日(日) 令和6年 ③1月7日(日) ④1月21日(日) ⑤2月11日(日) ⑥2月25日(日) 各回とも午前10時～正午 【講師】 立正大学専任講師 栗原 健一 氏	定員 36人 受講者 39人 ① 35人 ② 33人 ③ 35人 ④ 34人

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計
博物館体験教室	①「たたき独楽を回してみよう！」	日本の伝統文化に対し、興味と理解を育てるために、様々な地域の特色ある独楽を実際に回す体験教室を実施する。	どなたでも	【日程】 5月5日(金・祝) 午後1時～午後3時30分 【講師】 当館学芸員 岡田 貴哉	9組 21人
	②「はじめての篆刻」	篆刻を通し、字形の歴史を学ぶことを目的とし、彫刻刀で石を掘り、オリジナルの印鑑を作成する。	市内在住で18歳以上の方	【日程】 9月23日(土) 午後1時30分～4時30分 【講師】 埼玉大学講師 大東文化大学 オープンカレッジ講師 権田 逸廬 氏	定員 6人 6人
	③「火おこしに挑戦！」	木製発火具等を使って火をおこす。考古学、ひいては郷土史への関心を喚起する。	どなたでも(小学生以上は子どものみでの参加可)	【日程】 12月3日(日) ①午前10時～11時 ②午後1時30分～2時30分 【講師】 当館学芸員 江原 順	定員各回 5組 (1組 2～4人) ① 7組 22人 ② 5組 16人 計 12組 38人
	④「おりがみで干支を折ろう！」	年始という実施時期を鑑み、干支である「辰」に因んで「たつ」を折り紙で制作した。	小学5年生以上	【日程】 令和6年1月6日(土) ①午前9時30分～正午 ②午後1時30分～4時 【講師】 日本折紙協会講師 本多 秀子 氏	定員各回 12人 ① 13人 ② 9人
	⑤「糸車で糸を紡ごう」	糸車を使って綿から糸を紡ぎ、綿の繊維を引き出し撚りをかけ、巻き取るという糸を紡ぐ工程を学ぶ。	どなたでも(小学校3年生以下は保護者同伴)	【日程】 ①令和6年3月23日(土) ② 3月24日(日) (1)午前10時～ (2)午後1時30分～ (3)午後3時～ 【講師】 当館学芸員等	定員各回 6組 (1組 4人まで 又は1家族)
夏休み体験教室	①「まが玉をつくろう！」	ろう石を磨いて勾玉を作る。勾玉とは何かを学び、勾玉づくりの技術の一端を体験する。	小学生	【日程】 8月3日(木) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】 当館学芸員 江原 順	定員各回 12人 ① 12人 ② 12人
	②「コースターをつくろう！」	身近な材料を使い、簡単な織機でコースターを織る。体験を通して織物の原理を学ぶ。	小学生(1・2年生は保護者同伴)	【日程】 8月10日(木) ①午前10時～11時30分 ②午後1時30分～3時 【講師】 専門技術者 菅井 美穂子 氏	定員各回 12人 ① 14人 ② 15人 ※保護者含む
	③「鏡づくりに挑戦！」	低融点合金と石膏鋳型で小型鏡をつくる。体験を通して、市内でも出土例のある青銅鏡の理解を深める。	小学3～6年生	【日程】 8月24日(木) 午後1時30分～4時 【講師】 当館学芸員 江原 順	定員 12人 12人

事業・講座名		趣旨・内容	対象	日程・講師	参加人数累計
博学連携事業	小学校3年生 博物館利用授業	郷土学習を始める市内 小学校3年生を対象 に、調べ学習、体験学 習などの博物館利用授 業を行う。 ※バス借上げによる来 館児童送迎あり（教育 指導課予算）。	市内小学 校3年生	① 1月16日(火)八小2C ② 1月17日(水)八小3C ③ 1月18日(木)六小3C ④ 1月19日(金)六小3C ⑤ 1月23日(火)九小2C ⑥ 1月24日(水)一小2C ⑦ 1月25日(木)七小4C ⑧ 1月30日(火)五小4C ⑨ 1月31日(水)五小2C ⑩ 2月1日(木)二小4C ⑪ 2月2日(金)四小3C ⑫ 2月7日(水)三小4C 八小1C ⑬ 2月8日(木)一小1C ⑭ 2月29日(木)十小4C	① 61人 ② 98人 ③ 96人 ④ 88人 ⑤ 62人 ⑥ 74人 ⑦ 140人 ⑧ 114人 ⑨ 60人
	小学校1年生 博物館利用授業	小学校1年生国語科 「たぬきの糸車」に伴 う糸車体験教室を行 う。 ※出張授業	市内小学 校1年生	① 1月30日(火) ～2月2日(金)八小6C (貸出のみ) ② 2月14日(水)四小3C ③ 2月15日(木)三小4C ④ 2月16日(金)七小4C ⑤ 2月20日(火)二小4C ⑥ 2月21日(水)十小4C ⑦ 2月22日(木)一小3C ⑧ 2月27日(火)五小5C ⑨ 3月1日(金)九小2C	—
	博物館利用 検討委員会	市内小中学校教諭から なる同委員会にて、上 記プログラムなどの博 学連携事業等について 検討し、学校の博物館 利用促進を図る。	市内小中 学校教諭	【定例会兼研修会】 7月5日(水) 午後3時30分～4時30分 【主催】 博物館利用検討委員会	16人
	博物館学芸員実習	学芸員養成課程履修学 生の館務実習を受け入 れる。	大学生	【日程】 8月15日(火) ～8月22日(火) (※6日間)	8大学 8人
調査	古文書調査	古文書目録の整理及び 解読を行う。 目録 「比留間ヨシ家文書」 解読 「細田優家文書」	—	通年	—
	自然史資料調査	博物館や文化財所管施 設の自然史資料(生態 系等)の調査を行う。	—	通年	—

3 刊行物・広報

刊行物	『朝霞市県展作品展』	ポスター 300枚 (令和5年8月31日発行) ハガキ 800枚 (令和5年8月31日発行) リーフレット 1,100枚 (令和5年9月7日発行)
	『樹木と人の暮らし』	展示図録 850部 (令和5年10月13日発行) ポスター 500枚 (令和5年9月22日発行) チラシ 13,000枚 (令和5年9月22日発行)
	『朝霞市博物館研究紀要』第19号	400部 (令和6年3月31日発行)
広報	記者発表による報道機関等への周知を行うと共に、報道機関等からの取材に対し、企画展・講座等の博物館事業の情報提供等を行う。また、『広報あさか』及び朝霞市ホームページに事業情報を掲載し、メール配信サービスにて情報を配信するなど、広報に努める。	情報誌等 : 5件 新聞 : 3件 インターネットサイト : 2件 ラジオ : 1件 広報あさか : 毎月号 ホームページ : 随時更新 メール配信サービス登録者 : 随時

4 その他

(1) 新型コロナウイルス感染症対策解除 (常設展示のハンズオン資料を再開、HPからコロナ対策を削除)
令和5年5月9日(火)

(2) 館内くん蒸による臨時休館
令和5年6月16日(金)～令和5年6月22日(木)【7日間】

(3) 利用者アンケート【令和6年1月31日現在】

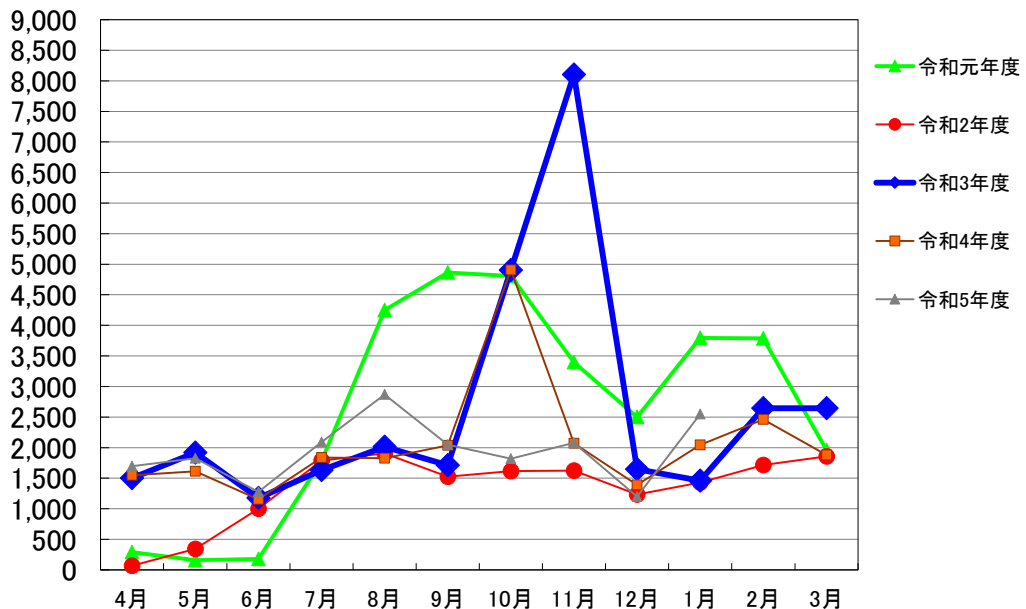
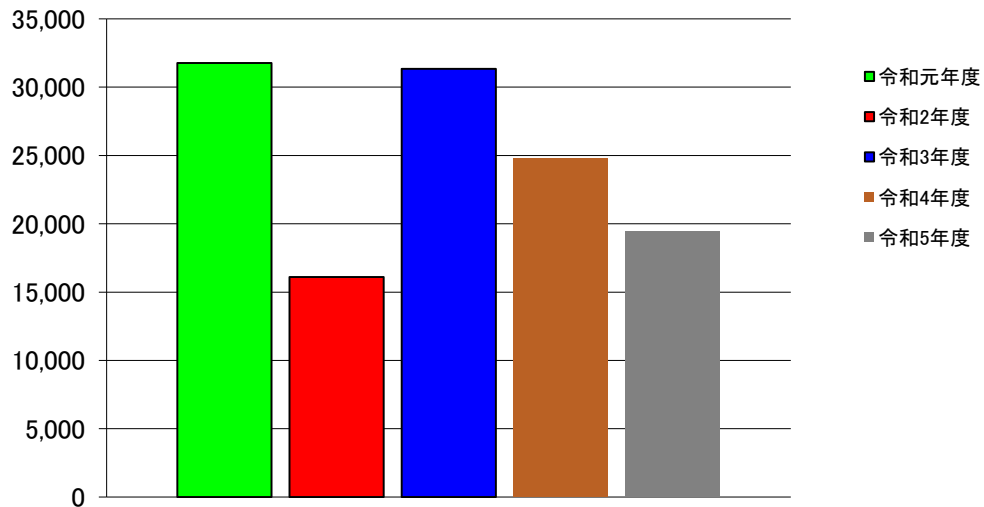
・ 4月1日(土)～1月31日(水) うち開館日数 : 240日
入館者数 : 19,452人 うちアンケート回答者数 : 116人 (0.6%)

(4) 県展アンケート

・ 9月9日(土)～9月24日(日) うち開館日数 : 14日
入館者数 1,418人 うちアンケート回答者数 : 22人 (1.6%)

利用統計 令和元年度～令和5年度(令和6年1月末現在)

年数	24			25			26			27			28		
年度	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	開館 日数	入館者数	平均 入館者数	開館 日数	入館者数	平均 入館者数	開館 日数	入館者数	平均 入館者数	開館 日数	入館者数	平均 入館者数	開館 日数	入館者数	平均 入館者数
4月	0	289	—	1	69	69	24	1,501	63	25	1,547	64	25	1,697	68
5月	0	159	—	6	345	58	25	1,918	77	24	1,614	67	25	1,827	73
6月	0	179	—	18	1,001	56	19	1,175	62	19	1,153	64	19	1,276	67
7月	10	1,779	178	27	1,787	66	27	1,633	60	26	1,838	71	25	2,091	84
8月	27	4,251	157	25	1,906	76	25	2,014	81	24	1,827	76	26	2,868	110
9月	24	4,864	203	25	1,524	61	25	1,710	68	26	2,038	78	26	2,049	79
10月	27	4,807	178	26	1,615	62	26	4,904	189	26	4,908	189	26	1,820	70
11月	26	3,399	131	23	1,624	71	24	8,103	338	24	2,071	86	25	2,077	83
12月	22	2,501	114	22	1,235	56	23	1,647	72	21	1,391	66	21	1,198	57
1月	22	3,794	172	23	1,429	62	22	1,459	66	22	2,046	93	22	2,549	116
2月	23	3,789	165	21	1,715	82	22	2,643	120	23	2,462	107			
3月	25	1,959	78	25	1,857	74	26	2,644	102	25	1,879	75			
計	206	31,770	154	242	16,107	67	288	31,351	109	285	24,774	87	240	19,452	81



令和 6 年度事業計画

令和6年度（2024年度）博物館事業計画

令和6年（2024年）4月1日～令和7年（2025年）3月31日

令和6年1月31日現在

1 令和6年度事業計画

	事業名	趣旨・内容	対象	日程・講師
常設展示	考古分野 「遺跡が語る朝霞」 歴史分野 「陸の道と水の道」 民俗分野 「水となりわい」	朝霞の歴史や文化について、遺跡とその出土品、川越街道と膝折宿、舟運と東上線、水車利用の伸銅を取り上げ、エポック展示として紹介する。	—	【通年】
	民俗分野 「むかしの暮らし」	昭和30～40年代頃のくらしの風景や道具について紹介する。	—	【日程】 6～8月、3月 ※企画展・テーマ展示等 開催時は撤収・入替
	美術・工芸分野 「朝霞の美術・工芸」	市内に伝わる染色、仏像・神像を取り上げ紹介する。	—	【日程】 6～8月、3月 ※企画展・テーマ展示等 開催時は撤収・入替
第38回企画展	「朝霞の古墳時代」 (仮称)	朝霞の歴史や文化に関連した事柄についての学芸員による調査・研究の展示を行う。	—	【日程】 10月12日(土)～11月24日(日) (予定)
テーマ展示	池田幹雄追悼展 (仮)	長年朝霞市美術協会会長として尽力され、令和4年11月に逝去された日本画家池田幹雄氏を追悼し、作品展を開催する。	—	【日程】 5月1日(水)～5月31日(金) (予定)
	朝霞市県展作品展	第72回埼玉県美術展覧会(県展)において出品された市内作家の入選作品等を集めて紹介する。	—	【日程】 9月14日(土)～9月29日(日) (予定)
ギャラリー展示	朝霞と地震 —関東大震災から100年を迎えて—	館蔵資料により当時を振り返るとともに、朝霞地域の地震の歴史と、現在の朝霞市の対策などについて紹介する。	—	【日程】 4月2日(火)～4月7日(日) ※前年度継続事業 2月3日(土)～
	あさか発掘調査速報展	令和5年度に実施した市内の発掘調査成果について、出土した土器や発掘調査の写真パネル等を中心に紹介・展示する。	—	【日程】 7月～8月
	冬のギャラリー展示	朝霞の歴史・民俗・美術に関わるテーマで、写真パネルを中心とした展示を行う。	—	【日程】 令和7年1月～6月 次年度に継続

事業名		趣旨・内容	対象	日程・講師
収蔵資料展示	小学校3年生博物館利用授業展示「昔の道具」	博学連携事業で来館する市内小学校3年生の授業プログラムに沿った「昔の道具」を展示する。	—	①4月1日(月)～4月7日(日) ※前年度継続事業 12月23日(土)～ ②令和7年1月～3月
資料紹介展示	「独楽」	独楽の歴史や地域に根付いた独楽などの紹介とともに、収蔵資料から独楽を展示する。	—	
	「ワタから糸へ」	綿織り機や糸車をはじめとする体験用資料などにより、ワタから糸になるまでを紹介する。	—	①4月1日(月)～4月7日(日) ※前年度継続事業 12月1日(金)～ ②令和7年1月～3月
	博物館実習生展示「タイトル未定」	博物館実習生が、それぞれテーマを設けて収蔵資料を紹介する。	—	8月下旬
生体展示	「朝霞で見られる水の生き物」	フナ・ドジョウ・ナマズなど朝霞で見られる水の生き物について生体展示を行う。	—	通年
	「博物館で生まれたカブトムシ」	夏休み期間にあわせ、博物館で羽化したカブトムシの生体展示を行う。	—	7月～8月
歴史講座(連続3回)		朝霞や周辺地域における郷土史について学習する。	一般	【日程】令和7年1～3月 【講師】大学教授等
古文書講座(連続6回)		朝霞市内に残る古文書を読み解き、古文書の読み方とともに地域の歴史を学ぶ。	一般	【日程】12月～3月 【講師】大学講師等
博物館体験教室(全5回)		体験学習をとおして、郷土史や伝統文化への興味と理解を育てる。	各回ごとに設定	【日程】4～3月 【講師】専門技術団体 当館学芸員等
夏休み体験教室(全3回)		小学生を対象とした体験学習を行い、郷土の自然・歴史への関心を喚起するとともに、夏休み自由研究の一助とする。	小学生	【日程】7～8月 【講師】専門技術団体 当館学芸員等

事業名		趣旨・内容	対象	日程・講師
博学連携事業	小学校3年生博物館利用授業	郷土学習を始める市内小学校3年生を対象に、調べ学習、体験学習などの博物館利用授業を行う。 ※バス借上げによる来館児童送迎あり（教育指導課予算）	市内小学校3年生	【3学期】（学校の希望日）
	小学校1年生博物館利用授業	小学校1年生国語科「たぬきの糸車」に伴う糸車体験教室を行う。 ※出張授業	市内小学校1年生	【3学期】（学校の希望日）
	博物館利用検討委員会	市内小中学校教諭からなる同委員会にて、上記プログラムなどの博学連携事業等について検討し、学校の博物館利用促進を図る。	市内小中学校教諭	【定例会兼研修会】年1回 【主催】博物館利用検討委員会 【講師】当館学芸員
	博物館学芸員実習	学芸員養成課程履修学生の館務実習を受け入れる。	大学生	【日程】 8月20日(火)～8月27日(火) (※7日間)
調査	古文書調査	古文書の目録整理及び市内田島地区に伝え残した古文書の解読を行う。		通年
	自然史資料調査	博物館や文化財所管施設の自然史資料（生態系等）の調査を行う。		通年

2 刊行物・広報

刊行物・広報	第38回企画展	展示図録 ポスター チラシ
	ギャラリー展示	パンフレット
	朝霞市博物館調査報告書第12集	400部

3 その他

○来館者に影響のある運営・施設管理予定

・館内くん蒸（6月・臨時休館を伴う）